

令和7年度府中市立府中第十中学校授業改善推進プラン（学校全体の取組）

◎児童・生徒の資質・能力を育成するため、教育活動で特に重視する4つの視点
➡ 【発見すること】【対話すること】【決定すること】【表現すること】

1 現状及び課題等

(1) 学習改善の視点（生徒の学び方）

- ①タブレット端末などの ICT 機器を使って情報を整理することが苦手な生徒が多い。
- ②学習した内容について見直し、次の学習につなげることが苦手な生徒が多い。
- ③家庭学習の習慣が身に付いていない生徒が一定数いる。

(2) 指導改善の視点（教師の指導方法）

- ①タブレット端末などの ICT 機器を活用し、生徒に情報を整理させる機会を増やす。
- ②単元の終わり等に定着度をはかり、生徒が見通しをもち学習内容や方法を決定して学習活動に取り組む工夫を行う。
- ③問題集やeライブラリ等を活用し、家庭学習を促す。

2 学校全体で目指す授業像

(1) 目指す生徒の学びの姿

- ・タブレット端末などの ICT 機器を使って情報を整理することができる生徒【対話・決定・表現】
- ・学習した内容について見直し、次の学習につなげることができる生徒【発見・対話】
- ・家庭学習の習慣が身に付いている生徒【決定】

(2) 目指す授業像

- ・タブレット端末などの ICT 機器を活用して学びを深める場面がある授業【対話・決定・表現】
- ・生徒が自ら学習を調整できる授業【発見・対話】
- ・授業以外でも学習したくなるような、しなければいけないというような意識を高める授業【決定】

3 学校全体で取り組む授業改善の具体的な取組

(1) 各教科における授業改善のポイント【全学年共通】

国語	ペア、グループでの話し合い活動を計画的に取り入れた授業を行う。【対話・表現】様々な意見を聞いたうえで自分の考えを深め、書いたり、話したりすることを通して、表現する力をつける。【対話・表現】	美術	生徒それぞれの表現活動につながるような資料探しやタブレット端末の活用方法を学習していく。【発見】情報を自分なりに整理し、理解した上で表現に活用する力を身に付ける。【決定・表現】
数学	デジタル教材を効果的に活用し、生徒が視覚的かつ直観的に理解できるようにし、新たな気づきにつなげる。【発見】生徒の習熟度に応じて問題の難易度や量を調整し、主体的な学習につながる場面設定を行う。【決定】	技術	生徒用タブレット端末を活用して情報を整理したり、作業の様子を録画したりするなど、生徒同士で課題解決に向けた学びを実践する。【対話】模範作業用動画を自ら視聴し、振り返ることで「自分でできる」体験を経験させる。【発見】
社会	デジタル教材を効果的に使用し、日頃手に取れない資料（史料）をもとに考察を深めたり、具体的に認識したりして、自ら学習を深められるようにする。【発見・決定】既存のツールにデジタルのツールも加えて、自己の見解を他者と共有することによりより深い学びを行う。【対話・表現】	家庭	タブレット端末を使用し見本や作業手順を提示することで、理解しやすい授業を行う。【発見・対話】生徒の作業進度をタブレット端末に整理させて生徒自身が進度を把握し、振り返りができるようにすることで自信や課題発見につなげる。【発見・決定】
理科	グループでの話し合い活動を取り入れ、その発表を行う。【対話・表現】身近な理科的な例を紹介し、理科に興味をもたせ、授業以外でももっと知りたいと意欲を高める授業を行う。【決定】	保健体育	生徒同士で動画撮影を行うなどして、自分の技能の向上につなげたり、仲間と助言し合ったりできるようにする。【発見・対話】
音楽	話し合い活動や意見発表の場面を多く設ける【対話・発見・決定】基礎の定着を図り、豊かな表現ができる技能を身につける【表現】ICT教材を活用して、鑑賞活動を充実させる。【発見】	外国語	4技能を統合して活用する力の定着を目指して、 ① それぞれの技能や既習事項に関連付けた活動を授業で取り入れる。【発見・表現】 ② 少人数授業や ICT 機器を活用して、学習に関する振り返りや教員からの個別のフィードバックを行う。【対話・決定】

(2) 生徒用タブレット端末の活用【市共通】

- ・スライドやスプレッドシート、FigJam、Canva等を活用して、情報を整理する力を身に付けさせる。【対話・決定・表現】
- ・単元末の振り返りとして、eライブラリアドバンス等を活用し、自らの定着度を把握させる。【発見・対話】